

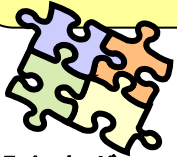
# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2011年4月1日発行

3月1日～12日に開催した「はもりあ週間」では、たくさんの方においでいただき、好評のうちに終わることができました。また、12日のエンディング講演会の際、前日に発生した東北地方太平洋沖地震の被災者支援のための義援金箱を急遽設置させていただき、参加者の皆様から15,691円の義援金をいただきました。この義援金は、日本赤十字社及び中央共同募金会を通じて被災者支援に役立ててまいります。

はもりあ四日市では、引き続き義援金を受け付けています。よろしくお願いいたします。



## “はもりあ週間エンディング講演会” 実施報告！

### 【女声ヴォーカルアンサンブル“ミレニアム”の合唱】

講演会の前に、女声ヴォーカルアンサンブルグループ“ミレニアム”による合唱がありました。きれいな歌声を披露していただく中、最後の曲は「ころざしをください」。広岡先生が作詞された曲です。2番の歌詞に「老若男女あまたの人びとが 手と手を結んで とともに生きる ころざしをください」とあります。「ともに生きる社会の構築」、男女共同参画の考えそのものが書かれている曲です。

### 【妻が僕を変えた日 ～子育て中に広がる男女のみぞ～】

広岡先生には、5人のお子さんがいらっしゃいます。先生は、妻(立美さん)が3人目のお子さんを妊娠するまで、母子は一緒にいてこそハッピーと思っていたそうです。しかし立美さんに尋ねると「少しでいいから一人になる時間が欲しかった」との答え。立美さんは、子育て中でも、そして子育て中こそ自分自身も輝いていたい、社会の風にあたりたいと思っていたそうです。でも、同時に立美さんには、ちゃんと子育てできないと子育てもできない女だと思われるのではとの思いもあったそうです。ここに、女性はこうあるべきというつくられた性別(ジェンダー)が存在します。意識の底のほうに、子育ては女性が主体的にするものといつものまにか刷り込まれていたのです。



<広岡先生の講演の様子>

先生は、相手の立場に立ち、相手を受け止める「傾聴」ができていなかったと当時を振り返られました。先生は、妻の思いに気づかず妻を支えることができていなかったこと、そして妻の自分育てをバックアップするのは、“夫”にほかならないことに気づいたそうです。

男女共同参画とは、夫婦であれば妻が夫の、夫が妻の自分育てを支えていくこと。女だから男だからという理由でチャレンジするチャン

スに差をつけないことが大切です。そして、めぐってきた機会をお互いに応援することも大切と話されました。

### 【エンパワーメント “学び”からステップアップ】

2005年、多摩地域で「女性のためのキャリアアップコーディネータ養成講座」を開催したそうです。講座終了後、有志で「グループ・エンツリー」が結成されました。講座の企画運営をするようになったメンバーに、広岡先生は、企画だけではなくグループから講師も出すよう促しました。企画立案から講師へとステップアップすることで、個人としてもグループとしても成長し、エンパワーメントしたエンツリーは、2008年NPO法人格を取得。現在は八王子市の親子つどいの広場の指定管理も担っています。

男女共同参画センターに求められている学びの場は、知識教養を高める学び場ではなく、「能力を高める」学びの場です。

# 女性のための相談やっています!

## 女性のための相談

はもりあ四日市には、「女性相談員による女性のための相談室」があります。ここでは、自分自身の生き方、夫婦のこと、男女のこと、離婚のこと、家族のこと、夫・恋人からの暴力のこと、職場の人間関係のことなどを、3人の相談員が相談者の立場で考え、相談に応じています。相談は無料です。

- 【相談日】 火曜日～土曜日(祝日除く)
- 【相談専用電話】 354-8335
- 【面接相談】 予約制で行っています(予約は、354-8331まで)
- 【相談時間】 9:00～12:00 13:00～16:00

## 女性のためのチャレンジ相談

働きたい! 資格を取りたい! 起業したい!

というあなたの“チャレンジの第一歩”を応援するため、毎週土曜日、チャレンジ相談を実施しています。相談員はキャリアカウンセラーで、面接相談も電話相談も行っています。履歴書の書き方指導、面接対策、適職診断などもできます。相談は無料です。

- 【相談日】 毎週土曜日
- 【相談専用電話】 357-1026 土曜日のみ
- 【相談時間】 9:00～12:00 13:00～16:00
- 【面接相談】 予約できます。(予約は、みえチャレンジプラザ 356-0239まで)



## 募集

## 男女がいきいきと働いている企業(三重県)

三重県では、男女の雇用均等、女性の能力活用や、仕事と生活の調和、次世代育成支援などに積極的に取り組む企業(法人)を認証し、その認証企業(法人)の中からさらに、表彰企業(法人)を選考します。

認証されると、県のホームページ、広報誌等により認証企業の取組を紹介するほか、公共工事の総合評価方式の評価項目一つとして、一定の期間、加点対象になります。また、物件関係における清掃業務、警備業務、情報システムの調達、保守管理の業務等について、総合評価一般競争入札の評価項目の一つとして、一定の期間、加点対象となります。(但し、設計金額によります。)

応募方法など詳細は、下記ホームページに記載しています。

また、はもりあ四日市ホームページ([はもりあ](#) 検索)からもご覧いただけます。

### 【応募対象】

県内に本店または主たる事務所があり、県内において事業活動を行う常時雇用労働者を有する法人(国及び地方公共団体を除く、営利・非営利は問いません。)

### 【応募方法】

企業(法人)からの直接応募となります。応募用紙等に記入のうえ郵送または持参で提出してください。

### 【募集期間】

平成23年4月1日(金)～平成23年6月30日(木) 必着

### 【応募・問い合わせ先】

三重県生活・文化部勤労・雇用支援室 勤労福祉グループ

TEL 059-224-2454 FAX 059-224-2455

電子メール [kinko@pref.mie.jp](mailto:kinko@pref.mie.jp) <http://www.oshigoto.pref.mie.lg.jp/>



# 留学生から見た日本の男女

## はもりあ週間ワークショップ報告

はもりあ週間では、期間中に18のワークショップが開催されました。その中から常磐男女共同参画をすすめる会が企画運営した「留学生から見た日本の男女」を報告します。留学生の出身国は、中国、ネパール、ベトナム、インドネシア、ブラジルの5カ国です。そのほかに、シンガポールから来日して、働いている参加者もみえました。自己紹介のあと、4つのグループに分かれて、2つのテーマについてみんなで意見交換をしました。

### 【テーマ1；夫婦別姓に賛成ですか？】

留学生のうち、中国、ベトナムは夫婦別姓、日本、ネパールは夫婦同姓です。みんなが驚いたのは、インドネシアの留学生のお話。インドネシアにはそもそも「姓」という概念がなく、「名」のみだということでした。「それで家族のつながりに影響はない？」という質問には「昔からそうだから何も問題ない」とのこと。各グループの発表では、強制するのではなく、どちらでも選べるのがよいという意見が多数派でした。

### 【テーマ2；「男は外で働き、女は家事育児」に賛成ですか？】

この問いには、ネパールの留学生が賛成の意見でしたが、その他の国の留学生は、男女とも働き、家事も一緒にするという意見が多数でした。英語助手の経験があるシンガポールの参加者から、「日本では、一般の先生は女性が多いけれども、校長や教頭は圧倒的に男性が多い。」という意見がだされました。

短い時間でしたが、様々な国の男女共同参画の現状について、留学生の皆さんと意見交換ができ、視野を広げることができました。



## 今月のおすすめ本

今月は、歴史の本を2冊紹介します。この2冊は、「はもりあ」で貸出できます。



### 『時代を生きた女たち』

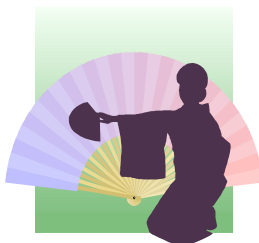
この本は、女性に焦点をあて、「政治」「家族」「労働」「性」「表現」「戦争・平和」という6つのテーマ、85項目で、さまざまな時代について書かれています。女性たちが政治にどのように関わっていたか、どのように働いていたか、今まで読んできた歴史と切り口が違うだけで、歴史解釈も違ってきます。



### 『武家の女性』

この本は、女性解放運動家だった山川菊栄が、母・千世から聞いた話をもとに書いた本です。時代劇とはひと味違う、有名ではない水戸の武家の家庭や女性の日常が書かれています。例えば、満6歳になると始める手習いについて。

女は平仮名が読める程度でいいとされていました。水戸では、女が学問をすると縁遠くなる、血筋をよそへ持っていかれると嫌がられていたそうです。



## 今月のキーワード

## 家族経営協定

日本の農業は、家族経営が一般的であり、農業に従事するのは、経営主(世帯主)、配偶者等家族全員です。配偶者である女性は、農家において大きな労働力を占めているにもかかわらず、収入は経営主に帰属するので、社会的・経済的に評価されにくく、家事労働と同様に典型的な無報酬労働となることが多いです。

家族経営協定とは、農家の家族間で農業経営における労働報酬や時間に関する働き方、役割分担を明確にし、さらに将来の経営委譲などについて定めたルールのことです。協定書が締結されることで、経営方針を家族で共有できるようになり、女性だけでなく後継者も意欲とやりがいを持って経営に参画できるようになります。

四日市市では第三者の立会いのもと、調印式も実施されており、現在24件の協定書が締結されています(3月31日現在)。



## 登録グループイベント情報

- 4月15日(金) 『枕草子を読み解く』～エッセイの原点から心晴れやかな生き方を学ぶ～  
第1段～33段を読みます。  
時 13:30～15:30 所 本町プラザ 2階第1会議室 費 500円  
講 河原徳子さん(近代日本文学研究者)  
問 よっかいち朗読文学の会 奥村 (TEL/FAX357-5519)
- 4月16日(土) 『整理収納 基本の“き”』～エッセイの原点から心晴れやかな生き方を学ぶ～  
整理収納の基本を知れば、誰でも整理上手になれます!!  
時 14:00～15:30 所 はもりあ四日市 会議室 費 500円  
講 中村恭子さん(整理収納アドバイザー認定講師) 事前申込みが必要です!  
問・申 NPO 幸せな家庭環境つくる会 中村 (TEL345-7726 / FAX345-0745)
- 4月30日(土) ミュージカル&ワークショップ『ドン・カマー』～たびのむこう～  
時 ワークショップ 13:00～、17:15～  
ミュージカル 15:05～、19:20～  
費 特別鑑賞券 2,500円 ワークショップ 1,000円 託児あります。1,000円  
所 三重県鈴鹿山麓研究学園都市センター きららホール  
問・申 NPO 法人体験ひろば こどもスペース四日市(TEL/FAX321-0883)

## 登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介します。今回は“楽ヨガ”さんです。

# 楽ヨガ

代表 伊藤 爾己枝 会員数 6名  
連絡先 080-5104-5042

らく～に たのし～く 気ら～くにストレッチヨガでリラ～ックス ☺という訳で楽ヨガになりました。

体へのストレス溜めていませんか?無理をせずゆっくり筋肉をほぐしていきます。

毎日のお仕事や家事、育児などで疲れている方、運動不足の方、体の硬い方、肩や腰の辛い方、

若い方から年配の方まで、男性も女性も、楽しいお話も交えて体も心もリラックスしています。

一度体験してみませんか?



所 本町プラザ3F はもりあ四日市こどものへや 時 土曜 19:00～ 不定期ですのでご連絡ください。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール [kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp](mailto:kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp)

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>